

葛飾区土木工事に係る設計、測量及び地質調査委託成績評定報告書の説明

総括監督員、施設部営繕課長は、以下、「工事主管課長」という。

◎ 開示請求や提示の際の注意

様式1「葛飾区設計等委託成績評定報告書」及び様式2「葛飾区設計等委託成績評定表」の、「起工金額」及び「落札率」は、非開示となります。

◎ 評定点 59点以下は不良、75点以上は優良

(1)対象種別

土木工事に係る設計、測量及び地質調査の委託成績評定報告書については、下記の委託区分を対象とする。

- ・ 地質調査委託
- ・ 測量委託
- ・ 概略設計、予備設計委託
- ・ 詳細設計委託

※1 委託種類によっては、評定項目が異なる。

※2 設備設計については、土木設備及び営繕設備があるが、本評定報告書では土木設備を対象とする。

以下の単純調査等は、対象外とする。

- ・ 単純調査等委託
- ・ 調査委託
- ・ 計画委託

(2)シート構成一覧

NO.	シート名称	様式No.	契約管財課へ送付	印刷	評定者				備考
					担当監督員	主任監督員	工事主管課長(総括監督員)	検査担当者	
1	報告書の説明			※					この報告書の説明文
2	設計等委託成績評定報告書	土-1号様式	△	◎	○	○			職名等の必要事項を記入
3	設計等委託成績評定表	土-2号様式	△	◎	○	○	○		
4	①採点表(担当監督員用)	土-3号様式	△	◎	○				
5	②採点表(主任監督員用)	土-4号様式	△	◎		○			
6	④採点表(検査担当者用)	土-5号様式	△	◎				○	
7	項目別評定点表	土-6号様式	△	◎					設-1、2の添付書類
8	入カシート		△	○	○	○			委託件名等の基礎的事項を記入する。
9	設計等委託成績評定報告書			○					使用しない
10	項目別評定点表		△	○					
11	設計等委託成績評定表		△	○	○	○	○		工事主管課長(総括監督員)等が、主管課名・所見欄を記入
12	採点表(①担当監督員用)	土-7号様式	△	○	○				担当監督員が、評価細目を入力
13	採点表(②主任監督員用)	土-8号様式	△	○		○			主任監督員が、評価細目を入力
14	採点表(③総括監督員用)	土-9号様式	△	○			○		工事主管課長(総括監督員)が、評価点数を入力
15	採点表(④検査担当者用)	土-10号様式	△	○				○	検査担当者が、評価細目を入力
16	集計表			○					
17	採点上の補足			※					
18	重み付			※					
19	集計シート			※					
20	通知書	設-1号様式	△	※					受注者へ通知、必要事項を記入
21	再通知書	設-2号様式	▽	※					受注者へ再通知、必要事項を記入
22	事故等による減点	設-3号様式	△	◎			○		工事主管課長(総括監督員)が、事故等の減点を入力
23	受領書	第1号様式	△	※					通知の際、受注者より受領
24	受領書(修正)	第1-2号様式	▽	※					修正通知の際、受注者より受領
25	業種一覧表			※					
26	業種・分野一覧表			※					
27	改定履歴			※					

※は印刷不要

◎:印刷対象

○:適宜印刷(各課で取扱いを決める)

△:総務部契約管財課へ送付 ▽:適時、総務部契約管財課へ送付

(3) 評定の流れ

1) 評定

- 1 担当監督員【入力シート】 基礎情報を入力する。
【①担当監督員用】 評定項目をチェックする。
【委託成績評定報告書】に必要事項を記入の上、担当監督員の欄に所見を記入する。(要綱第7条)
- 2 主任監督員【入力シート】 委託の評定区分を確認する。
【②主任監督員用】 評定項目をチェックする。
【委託成績評定報告書】に必要事項を記入の上、主任監督員の欄に所見を記入する。(要綱第7条)
- 3 工事主管課長(総括監督員)【③総括監督員用】 担当監督員及び主任監督員の評定点を総合的に判断して評定する。
検査担当者の評定点と併せて評定点を確定する。(要綱第8条)
【委託成績評定報告書】に必要事項を記入の上、総括監督員の欄に所見を記入する。また、工事主管課長(総括監督員)は、評定の結果を総務部契約管財課長に報告する。(要綱第6・10条)
- 4 検査担当者【④検査担当者用】 評定項目をチェックする。
評定した【④検査担当者用】及び【④採点表:検査担当者用(土-5号様式)】を工事主管課長(総括監督員)に報告する。(要綱第8条)
【通知書(設-1、2号様式)】、【項目別評定点表(土-6号様式)】により、受注者へ評定点を通知する。(要綱第11条)
- 5 総務部契約管財課長
受注者への説明は、様式を使用する。

(4) 評定方法

1) 工事主管課長(総括監督員) 評定基準

① 評定基準

工事主管課長(総括監督員)は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

② 評定点範囲

採点表の該当評定項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

③ 事故等による減点

当該業務の履行中に受注者に起因する事故等が発生した場合、工事主管課長(総括監督員)は、設-3号様式の適用項目で減点することができる。

3) 評価

①設計等委託成績評定は、「技術力」、「創意と工夫」、「社会的貢献」といった観点から、業者全体として特別な取組を行っているような場合、また、望ましい仕事、優れた仕事を行った業者を正当に評価し、その業績を伸ばすために行う。

②評価としては、環境対策、周辺住民への対応の適切さ、安全対策の徹底、設計意図に沿った技術提案設計等委託業務記録の分かりやすさ等で、業者の取組が区の期待する水準以上であった場合に良い点を取り上げる。

③繰り返し口頭注意しても直らない場合には、文書による指導を行い、採点表(事故等による減点)で、減点を行う。

④所見欄は、必ず記入する。

⑤評価の判断基準

ア 概ね適正な場合のチェック又は○◎は、特に指摘するような問題点はなく、通常行うべきことをしっかりやっており、特記仕様書等に基づいて、通常の業務を行っている場合に選択する。

イ 不備有の場合のチェック無し又は×は、文書による指導(指示書)や口頭による嚴重注意ほどに問題は大きくないが、多少の手直し事項がある場合等、一部にでも好ましくないことがあった場合に選択する。

ウ 概ね適正な場合の具体的な評価例

(ア)設計等委託業務の進め方に工夫が見られた。

(イ)率先して対応を行っていた。

(ウ)迅速な処理を行った。

(エ)効率的な方法で実施した。

(オ)対応が丁寧であった。

(カ)技術が優れていた。

(キ)懸命に作業に従事していた。

(ク)その他

エ 不備が有った場合の具体的な評価例

(ア)技術検査(課内検査)で、手直しがあった。

(イ)検査で、手直しがあった。また、重大な手直しがあり、再検査を実施した。

(ウ)設計図及び関係書類の誤記・訂正、記載遺漏、綴り忘れがあった。

(エ)記録写真帳の整理及び編集の不備

(オ)その他

オ 評価内容の変更および追加

当該設計等委託業務の内容が評価対象項目になじまないときは、工事主管課長は対象項目を別途定めることができる。

(5) 対象委託が複数の委託にまたがる場合の取り扱い

対象委託が、「地質調査、測量委託」、「設計委託」のうち複数の委託にまたがる場合においては、契約

書に記載の業種・分野において評定する。

(6) 評定区分

- 「測量委託」:「測量委託標準仕様書」等で定める委託について、「測量委託」採点表を用いて評定する。
- 「地質調査」:「地質調査標準仕様書」等で定める委託について、「地質調査委託」採点表を用いて評定する。
- 「設計委託」:「設計委託等標準仕様書」等で定める委託について、「概略設計・予備設計、詳細設計」採点表を用いて評定する。

(7) 評定結果の通知

- 総務部契約管財課長は、設一1号様式通知書(再通知の場合は、設一2号様式再通知書)及び土一6号様式項目別評定点表にて、受注者へ評定点の通知を手渡しで行う。(要綱11条)
- 総務部契約管財課長及び工事主管課長(総括監督員)は、通知の際に説明を求められた時は、速やかに応じること。(要綱12条)

(8) 各技術者の評定

「項目別評定」で記載している各技術者の評定は、委託評定を実施すると、以下の評価項目を抽出し、「(9) 評定点の加重評定」の重み付けを考慮し、自動的に評定される。なお、技術者評定は、入力シートに各技術者の氏名を記載した場合に評定される。

評定項目	各技術者		代理人及び主任技術者	担当技術者	照査技術者
	提案力、改善力	委託執行技術力			
専門技術力	提案力、改善力	委託執行技術力	○	○	—
	施工時への配慮	概略設計、予備設計	○	○	—
		詳細設計	○	○	—
	コスト把握能力		○	○	—
	管理技術力	工程管理能力		○	—
品質管理能力		○	—	○	
迅速性、弾力性、調整能力		○	—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性		○	○	—
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観		○	○	—
成果品の品質			○	○	○

(9) 評定点の加重評定

「集計表」シートで算出される「評定点の加重評定点」は、委託種別に応じて、各評価項目に以下の重み付けを考慮している。

評定項目	地質調査、測量委託				設計委託					
	委託評定	技術者評定			委託評定	技術者評定				
		代理又は主任	担当(注1)	照査		代理又は主任	担当(注1)	照査		
専門技術力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	
	委託執行技術力	4	4	4	—	4	4	4	—	
	施工時への配慮(注2)	概略設計、予備設計	—	—	—	—	1	1	1	—
		詳細設計	—	—	—	—	1	1	1	—
	コスト把握能力(注2)	—	—	—	—	1	1	1	—	
管理技術力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	
	迅速性、弾力性、調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	
コミュニケーション力	1	1	1	—	1	1	1	—		
取組姿勢	2	2	2	—	2	2	2	—		
成果品の品質	7	7	4	1	8	8	5	1		
計	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)		

- 注) 1. 「担当技術者」は3人までとする。
 2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計委託のみ評定の対象とする。

葛飾区設計等委託成績評定報告書

年 月 日

総務部契約管財課長 あて

部 課長
(工事主管課長)

設計等委託成績評定について次のとおり報告します。

案 件 番 号				
件 名				
履 行 場 所				
受 注 者 名				
業 種 番 号	業種名		分野	
代 理 人 氏 名			主任技術者氏名	
契 約 金 額			起工金額¥	
変 更 契 約 金 額			落札比率(%)	
契 約 日	年	月	日	
完 了 日	年	月	日	
完 了 検 査 年 月 日	年	月	日	
工事主管課長(総括監督員)所属・氏名				
主任監督員所属・氏名				
担当監督員所属・氏名				
検査担当者所属・氏名				
評 定 点				点
事故等による減点	—			点
総 評 定 点				点

※ 総評定点欄は、小数点以下を切捨てて整数とする。

葛 飾 区 設 計 等 委 託 成 績 評 定 表

年 月 日

工事主管課

件 名						契約方法				
履 行 場 所						案件番号				
路線・河川名						受 注 者				
契 約 日	年		月		日	起工金額(円)				
完 了 日	年		月		日	契約金額(円)				
変 更 期 限						変更金額(円)				
委 託 の 種 類	土木					業種名・分野				
						完了検査日	年		月	日
工 事 主 管 課						部	課		係	
代 理 人 氏 名						所 見 欄				
主 任 技 術 者 氏 名						担当監督員				
照 査 技 術 者 氏 名										
担 当 技 術 者 氏 名 ①										
担 当 技 術 者 氏 名 ②						主任監督員				
担 当 技 術 者 氏 名 ③										
工 事 主 管 課 長 (総括監督員) 氏 名										
主 任 監 督 員 氏 名						工事主管課長(総括監督員)				
担 当 監 督 員 氏 名										
検 査 担 当 者 氏 名										
評 価 項 目	評 定 点					委 託 評 定 ①	技 術 者 評 定			
	担 当 監 督 員	主 任 監 督 員	工 事 主 管 課 長 (総括監督員)	検 査 担 当 者 評 定 点	評 定 点		代 理 人、 主 任 技 術 者 ②	担 当 技 術 者 ③	照 査 技 術 者 ④	
専 門 技 術 力	提案力、改善力									
	委託執行技術力									
	施 工 時 へ の 配 慮	概略設計、 予備設計								
		詳細設計								
コスト把握能力										
管 理 技 術 力	工程管理能力									
	品 質 管 理 能 力	設計委託以外					/ 600	/ 600		
		設計委託								
迅速性、弾力性、 調整能力										
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力	説明力、プレゼンテー ション力、協調性									
取 組 姿 勢	責任感、積極性、倫理観									
成果品の品質										
⑤ 評 定 点 の 加 重 評 定 点										
⑥ 事 故 等 に よ る 減 点					-	-	-	-		
					-	-	-	-		
総 合 評 定 点 = ⑤ + ⑥ + ⑦					-	-	-	-		

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
提案力、改善力 [加点评価]	委託着手段階における委託特性等の考慮	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法、技術に関する提案がなされた。注)
	委託遂行段階における提案	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100		
委託執行技術力	目的と内容の理解	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 当該委託の目的、内容が理解されていた。 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打合せ資料の内容	20		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小計	100			

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと

プロセス評価
専門技術力

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

(2/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	
プロセス評価 専門技術力	イ・『概略設計、予備設計』の場合 施工時への配慮 [設計時評価] (設計委託を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	施工に関する一般的な知識			設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。 施工方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を十分理解していた。
		施工条件の把握			当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
		小計			
		ロ・『詳細設計』の場合			
	ロ・『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識			<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。
		施工条件の把握			<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
		施工計画 (施工方法、仮設備計画)			<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載した施工計画書が提案された。 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。
		小計			
	コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)	コスト把握能力	100		<ul style="list-style-type: none"> 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 コスト削減に関わる提案があった。 ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に関わる提案があった。
		小計	100		

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

(3/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点		
プロセス評価	管理技術力	実施手順、 工程計画	30		<ul style="list-style-type: none"> 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。 	
		実施体制	10		<ul style="list-style-type: none"> 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。 	
		打合せ内容の理解、 記録	10		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ記録簿が速やかに提出された。 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。 	
		内部関係者への情報 伝達	10		<ul style="list-style-type: none"> 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。 	
		工程管理	40		<ul style="list-style-type: none"> 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。 	
	小計			100		
	品質管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の実施 [加点评価]	100		<ul style="list-style-type: none"> 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
			小計		100	
		ロ・『設計委託』 の場合	ミス防止の実施	100		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書等に、照査体制が記載されていた。 委託計画書等に、照査技術者及び照査担当者が配置されていた。 設計図書に定めのないチェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者及び照査担当者以外)で委託を行った。
	小計					

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

(4/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力 [加点評価]	当初計画の変更	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100		
プロセス評価	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30		<ul style="list-style-type: none"> 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 質問に対し的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20		<ul style="list-style-type: none"> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力 [加点評価]	20		<ul style="list-style-type: none"> 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100		

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

評価項目	評価の視点	配点	得点	
プロセス評価	取組姿勢	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・ 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・ 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。 ・ 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。
	小計	100		
結果評価	目的の達成度	40		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
	的確なとりまとめ	30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	ミスの有無	30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 修正が必要なミスはなかった。 ・ ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	小計	100		

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評定対象外

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
提案力、改善力 [加点评価]	委託着手段階における委託特性等の考慮	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
	委託遂行段階における提案	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100		
委託執行技術力	目的と内容の理解	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 当該委託の目的、内容が理解されていた。 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打合せ資料の内容	20		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小計	100			

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

プロセス評価
専門技術力

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

(2/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目	
プロセス評価	専門技術力	イ・『概略設計、予備設計』の場合			設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。	
					施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。	
					施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。	
		施工条件の把握			当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。	
					当該地域の環境特性を把握していた。	
				担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。		
				契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。		
		小計				
	ロ・『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識				・ 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。
						・ 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。
・ 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。						
・ 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。						
施工条件の把握					・ 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。	
				・ 当該地域の環境特性を把握していた。		
				・ 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。		
				・ 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。		
施工計画(施工方法、仮設備計画)				・ 必要事項を記載した施工計画書が提案された。		
				・ 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。		
				・ 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。		
				・ 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。		
	小計					
コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)	コスト把握能力		100		・ 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。	
					・ 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。	
					・ コスト縮減に関わる提案があった。	
					・ ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に関わる提案があった。	
	小計		100			

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

(3/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目	
プロセス評価	管理技術力	実施手順、 工程計画	30		<ul style="list-style-type: none"> 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。 	
		実施体制	10		<ul style="list-style-type: none"> 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。 	
		打合せ内容の理解、 記録	10		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ記録簿が速やかに提出された。 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。 	
		内部関係者への情報 伝達	10		<ul style="list-style-type: none"> 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。 	
		工程管理	40		<ul style="list-style-type: none"> 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。 	
	小計		100			
	品質管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の実施 〔加点評価〕	100		<ul style="list-style-type: none"> 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
			小計	100		
		ロ・『設計委託』 の場合	ミス防止の実施			<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書等に、照査体制が記載されていた。 委託計画書等に、照査技術者及び照査担当者が配置されていた。 設計図書に定めのないチェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者及び照査担当者以外)で委託を行った。
	小計					

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

(4/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目
管理技術力 [加点评価]	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の変更	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100		
プロセス評価 コミュニケーション力	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30		<ul style="list-style-type: none"> 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 質問に対し的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20		<ul style="list-style-type: none"> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力[加点评価]	20		<ul style="list-style-type: none"> 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100		

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

(5/5)

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・ 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・ 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。 ・ 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
		的確なとりまとめ	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 修正が必要なミスはなかった。 ・ ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
		小計	100	

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評定対象外

4.採点表(葛飾区)

(4) ④[検査担当者用]

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
完了 検査時	説明力	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問に対しの確な回答がなされ、一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 ・ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 ・ 説明を補足するための的確な資料が周到に用意されていた。
	小計	100		
	目的の達成度	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。(注)
	小計	100		
成果品の品質	的確なとりまとめ	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現になっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	小計	100		
	小計	100		

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

項目別評定点表(葛飾区)

評価項目		委託評定 ①	技術者評定			
			代理人、 主任技術者 ②	担当 技術者 ③	照査 技術者 ④	
専門技術力	提案力、改善力	/ 600	/ 600			
	委託執行技術力	/ 1200	/ 1200			
	施工時への配慮	概略設計、 予備設計				
		詳細設計				
コスト把握能力						
管理技術力	工程管理能力	/ 600	/ 600			
	品質管理 能力	設計委託以外	/ 600	/ 600		
		設計委託				
	迅速性、弾力性、 調整能力		/ 300	/ 300		
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、 協調性	/ 300	/ 300			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	/ 600	/ 600			
成果品の品質		/ 2100	/ 2100			
⑤ 評定点の加重平均点		/ 6300	/ 6900			
⑥ 事故等による減点						
総合評定点 = ⑤ + ⑥		/ 100	/ 100			

葛飾区設計・調査委託成績評定入力シート

○委託種類

委託分類	土木
委託種類	
評定区分	

○報告年月日

○入札方式

○基本情報

案 件 番 号					
件 名					
路 線 名 (河 川 名)					
履 行 場 所					
受 注 者					
業 種 番 号	0	業 種 名		分 野	
代 理 人 氏 名					
主 任 技 術 者 氏 名					
担 当 技 術 者 氏 名					
担 当 技 術 者 氏 名					
担 当 技 術 者 氏 名					
照 査 技 術 者 氏 名					
起 工 金 額	¥				
契 約 金 額	¥				
変 更 金 額	¥				
契 約 日		年	月	日	
変 更 年 月 日		年	月	日	
完 了 日		年	月	日	
完 了 検 査 年 月 日		年	月	日	
委 託 主 管 課			部		課 係
工 事 主 管 課 長 (総 括 監 督 員) 所 属 ・ 氏 名			部		課 長 係
主 任 監 督 員 所 属 ・ 氏 名			部		課 係
担 当 監 督 員 所 属 ・ 氏 名			部		課 係
検 査 担 当 者 所 属 ・ 氏 名			部		課 係
委 託 概 要					

葛飾区設計等委託成績評定報告書

年 月 日

工事主管課 部 課

設計等委託成績評定について次のとおり報告します。

案 件 番 号					
件 名					
履 行 場 所					
受 注 者 名					
業 種 番 号		業種名		分野	
代 理 人 氏 名			主任技術者氏名		
契 約 金 額				起工金額¥	
変 更 契 約 金 額				落札比率(%)	
契 約 日	年	月	日		
完 了 日	年	月	日		
完了検査年月日	年	月	日		
工事主管課長(総括監督員)所属・氏名	部 課 長				
主任監督員所属・氏名	部 課 係				
担当監督員所属・氏名	部 課 係				
検査担当者所属・氏名	部 課 係				
評 定 点					点
事故等による減点	—				点
総 評 定 点					点

※ 総評定点欄は、小数点以下を切捨てて整数とする。

項目別評定点表(葛飾区)

評価項目		委託評定 ①	技術者評定			
			代理人、 主任技術者 ②	担当 技術者 (注2) ③	照査 技術者 ④	
専門技術力	提案力、改善力	/ 600	/ 600			
	委託執行技術力	/ 1200	/ 1200			
	施工時への 配慮(注3)	概略設計、 予備設計				
		詳細設計				
コスト把握能力(注4)						
管理技術力	工程管理能力	/ 600	/ 600			
	品質管 理能力(注3)	設計委託以 外	/ 600	/ 600		
		設計委託				
迅速性、弾力性、 調整能力		/ 300	/ 300			
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテー ション力、協調性	/ 300	/ 300			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	/ 600	/ 600			
成果品の品質		/ 2100	/ 2100			
⑤ 評定点の加重平均点 (注1)		/ 6300	/ 6300			
⑥ 事故等による減点						
総合評定点 = ⑤ + ⑥		/ 100	/ 100			

- 注) 1. 「⑤の評定点の加重平均点」は、評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均であり、少数第二位を四捨五入し少数第一位とする。
2. 担当技術者は、主任技術者のもとで業務を担当する者であり、受注者が定めた場合のみ、評定する。
3. 業務区分により、いずれかを評定する。
4. 設計業務の場合のみ、評定する。

葛 飾 区 設 計 等 委 託 成 績 評 定 表

工事主管課

部 課

件 名					契約方法				
履行場所					案件番号				
路線・河川名					受 注 者				
完了日	年	月	日		起工金額(円)				
契約日	年	月	日		契約金額(円)				
変更期限					変更金額(円)				
委託の種類	土木				業種・分野				
					完了検査日	年	月	日	
工事主管課	部 課 係								
代 理 人 氏 名					所 見 欄				
主任技術者氏名					担当監督員				
照査技術者氏名									
担当技術者氏名①									
担当技術者氏名②					主任監督員				
担当技術者氏名③									
工事主管課長(総括監督員)氏名									
主任監督員氏名					工事主管課長(総括監督員)				
担当監督員氏名									
検査担当者氏名									
評価項目	評 定 点					委託評定 ①	技術者評定		
		担当 監督員	主任 監督員	工事主 管課長 (総括監 督員)	検査担 当者評 定点		評定点	代理人、 主任技術者 ②	担当 技術者 ③
専門技術力	提案力、改善力					/ 600	/ 600		
	委託執行技術力					/ 1200	/ 1200		
	施工時への 配慮(注2)	概略設計、 予備設計							
		詳細設計							
コスト把握能力(注2)									
管理技術力	工程管理能力					/ 600	/ 600		
	品質管 理能力	設計委託以外				/ 600	/ 600		
		設計委託							
迅速性、弾力性、 調整能力						/ 300	/ 300		
コミュニケー ション力	説明力、プレゼンテー ション力、協調性					/ 300	/ 300		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観					/ 600	/ 600		
成果品の品質						/ 2100	/ 2100		
⑤ 評定点の加重評定点						/ 6300	/ 6300		
⑥ 事故等による減点			—	—	—				
総合評定点 = ⑤ + ⑥			—	—	—	/ 100	/ 100		

注) 1. 総合評定点は、評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均である。
 2. 「⑤の評定点の加重平均点」は、少数第二位を四捨五入し少数第一位とする。
 3. 担当技術者は、主任技術者のもとで委託を担当する者であり、受注者が定めた場合のみ、評定する。

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	1.0	0.85	0.65	0.45		
提案力、改善力 (加點評価)	委託着手段階における委託特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 <input type="checkbox"/> 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法・技術に関する提案がなされた。(注)
	委託遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100						①	
プロセス評価 専門技術力 委託執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 当該委託の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)
	打合せ資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 <input type="checkbox"/> 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
小計	100						①		

注) 審査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

(2/5)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	1.0	0.85	0.65	0.45		
施工時への配慮 [設計時評価] (設計委託を対象に評定する。 イ、ロのいずれかを選択する。) 専門技術力 プロセス評価	イ・『概略設計、予備設計』の場合	100	施工に関する一般的な知識 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を十分理解していた。					
					施工条件の把握 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> 当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 <input type="checkbox"/> 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。			
							小計	①	
	ロ・『詳細設計』の場合	100	施工に関する一般的な知識 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。 <input type="checkbox"/> 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。					
					施工条件の把握 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> 当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 <input type="checkbox"/> 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。			
							施工計画(施工方法、仮設備計画) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 必要事項を記載した施工計画書が提案された。 <input type="checkbox"/> 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。	
	小計	①							
	コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」	<input type="checkbox"/> 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。 <input type="checkbox"/> 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 <input type="checkbox"/> コスト縮減に関わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に関わる提案があった。					
					小計	100	①		

1.採点表(葛飾区)

(1) ①〔担当監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣
工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 <input type="checkbox"/> ・ 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 <input type="checkbox"/> ・ 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。	
	実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・ 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 <input type="checkbox"/> ・ 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 <input type="checkbox"/> ・ 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。	
	打合せ内容の理解、 記録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 打合せ記録簿が速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・ 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 <input type="checkbox"/> ・ 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。	
	内部関係者への情報 伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。	
	工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 <input type="checkbox"/> ・ 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。	
	小計	100	①							
品質 管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の 実施 〔加 点 評 価〕	100	評価細目チェック数=0⇒ 「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・ 品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
		小計	100	①						
	ロ・『設計委託』の 場合	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 委託計画書等に、照査体制が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 委託計画書等に、照査技術者及び照査担当者が配置されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 設計図書に定めのないチェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 <input type="checkbox"/> ・ 品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署(照査技術者及び照査担当者以外)で委託を行った。
	小計		①							

プロセス評価
管理技術力

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

(4/5)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	0.85	0.65	0.45	劣			
			1.0	0.85	0.65	0.45	0.2			
管理技術力 [加点評価]	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・ その結果生じた検討内容が特に優れていた。	
	関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 <input type="checkbox"/> ・ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	
	地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 <input type="checkbox"/> ・ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	
	小計	100						①		
プロセス評価 コミュニケーション力	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・ 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> ・ 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力[加点評価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
	小計	100						①		

1.採点表(葛飾区)

(1) ①[担当監督員用]

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			標準									
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣		
プロセス評価	取組姿勢	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速にされた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。			
	小計		100						①			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。(注)		
		的確なとりまとめ		30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 <input type="checkbox"/> 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> 修正が必要なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	小計	100						①				

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評定対象外

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	1.0	0.85	0.65	0.45		
提案力、改善力 〔加点评価〕	委託着手段階における委託特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 <input type="checkbox"/> 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
	委託遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100						①	
プロセス評価 専門技術力 委託執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> 当該委託の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打合せ資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 <input type="checkbox"/> 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。注)
	小計	100						①	

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			標準								
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣	
施工時への配慮 [設計時評価] (設計委託を対象に評定する。 イ、ロのいずれかを選択する。) 専門技術力 プロセス評価	イ・『概略設計、予備設計』の場合 施工に関する一般的な知識	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を十分理解していた。			
			評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> 当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 <input type="checkbox"/> 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。		
			小計						①		
			ロ・『詳細設計』の場合 施工に関する一般的な知識	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。 <input type="checkbox"/> 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。	
					評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> 当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 <input type="checkbox"/> 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。	
					小計					①	
	施工計画 (施工方法、仮設備計画)	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 必要事項を記載した施工計画書が提案された。 <input type="checkbox"/> 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。			
			小計					①			
			コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。) コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。 <input type="checkbox"/> 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 <input type="checkbox"/> コスト縮減に関わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に関わる提案があった。	
	小計					①					

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣
工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 <input type="checkbox"/> ・ 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 <input type="checkbox"/> ・ 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。	
	実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・ 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 <input type="checkbox"/> ・ 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 <input type="checkbox"/> ・ 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。	
	打合せ内容の理解、 記録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 打合せ記録簿が速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・ 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 <input type="checkbox"/> ・ 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。	
	内部関係者への情報 伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。	
	工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 <input type="checkbox"/> ・ 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。	
小計		100	①							
品質 管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の 実施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0⇒ 「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・ 品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
	小計		100	①						
		ロ・『設計委託』の 場合	ミス防止の 実施		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒ 「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」					
小計			①							

プロセス評価
管理技術力

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣
管理技術力 [加点评価]	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・ その結果生じた検討内容が特に優れていた。	
	関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 <input type="checkbox"/> ・ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	
	地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 <input type="checkbox"/> ・ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	
	小計	100						①		
プロセス評価 コミュニケーション力	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・ 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・ 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 <input type="checkbox"/> ・ 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力[加点评価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.65」 〃=1⇒「0.85」、〃=2⇒「1」						<input type="checkbox"/> ・ 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
	小計	100						①		

2.採点表(葛飾区)

(2) ②〔主任監督員用〕

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			標準									
			優	1.0	0.85	0.65	0.45			劣		
プロセス評価	取組姿勢	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 <input type="checkbox"/> 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。 <input type="checkbox"/> 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。			
	小計		100						①			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)		
		的確なとりまとめ		30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 <input type="checkbox"/> 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.45」、〃=2⇒「0.65」 〃=3⇒「0.85」、〃=4⇒「1」						<input type="checkbox"/> 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 <input type="checkbox"/> 修正が必要なミスはなかった。 <input type="checkbox"/> ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	小計	100						①				

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評定対象外

3.採点表(葛飾区)

(3) ③[工事主管課長(総括監督員用)]

(1/1)

評価項目		評価の視点	評定点		評定点範囲	工事主管課長(総括監督員)	
			担当監督員	主任監督員			
専門技術力	提案力、改善力 [加点評価]	委託着手段階における委託特性等の考慮			100~65	⑥=	
		委託遂行段階における提案					
		委託遂行上必要となる課題の提案					
		委託内容等改善の提案					
		小計					
	委託執行技術力	目的と内容の理解			100~20	⑥=	
		必要情報の把握					
		検討項目、検討手法					
		打合せ資料の内容					
		十分な技術力					
	小計						
	施工時への配慮 (設計時評価、設計委託を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『概略設計、予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識			100~65	⑥=
			施工条件等の把握				
			小計				
		ロ.『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識				
施工条件等の把握							
施工計画 (施工方法、仮設備計画)							
小計							
コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)	コスト把握能力			100~20	⑥=		
	小計						
プロセス評価	工程管理能力	実施手順、工程計画			100~20	⑥=	
		実施体制					
		打合せ内容の理解、記録					
		内部関係者への情報伝達					
		工程管理					
	小計						
	品質管理能力 (イ、ロのいずれかを選択する。) [設計委託以外の場合は加点評価]	イ.『設計委託』以外の場合	ミス防止の実施			100~65	⑥=
			小計				
		ロ.『設計委託』の場合	ミス防止の実施				
	小計						
迅速性、弾力性、調整能力 [加点評価]	当初計画の変更			100~65	⑥=		
	関連事業者間の調整						
	地元住民との合意形成						
	小計						
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)			100~29	⑥=	
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)					
		説明を補う努力					
		円滑な委託遂行への努力 [加点評価]					
		小計					
取組姿勢	責任感、積極性			100~20	⑥=		
	小計						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度			100~20	⑥=	
		的確なとりまとめ					
		ミスの有無					
		小計					

※ [グレー] は評定対象外

4.採点表(葛飾区)

(4) ④[検査担当者用]

評価項目	評価の視点	配点	得点率				得点	評価細目
			標準					
			優	標準	劣	0.2		
	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 <input type="checkbox"/> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> 説明を補足するための的確な資料が周到に用意されていた。
	小計	100					①	
完了検査時	目的の達成度	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」					<input type="checkbox"/> 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> 委託成果は、委託目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
	小計	100					①	
	成果品の品質	的確なとりまとめ	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 // =1⇒「0.45」、// =2⇒「0.65」 // =3⇒「0.85」、// =4⇒「1」				
	小計	100					①	

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

参考:採点上の補足(葛飾区)

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会 中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

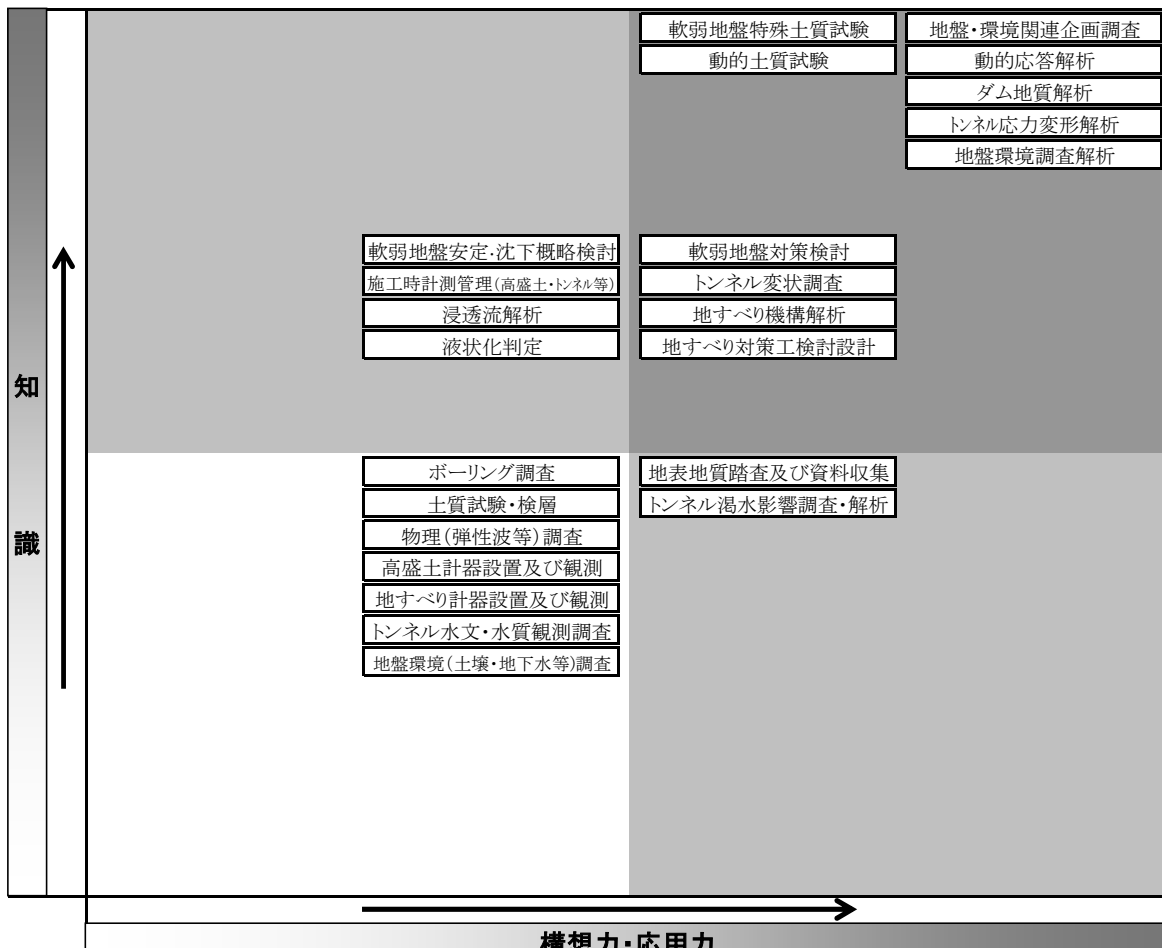


図 地質調査の例

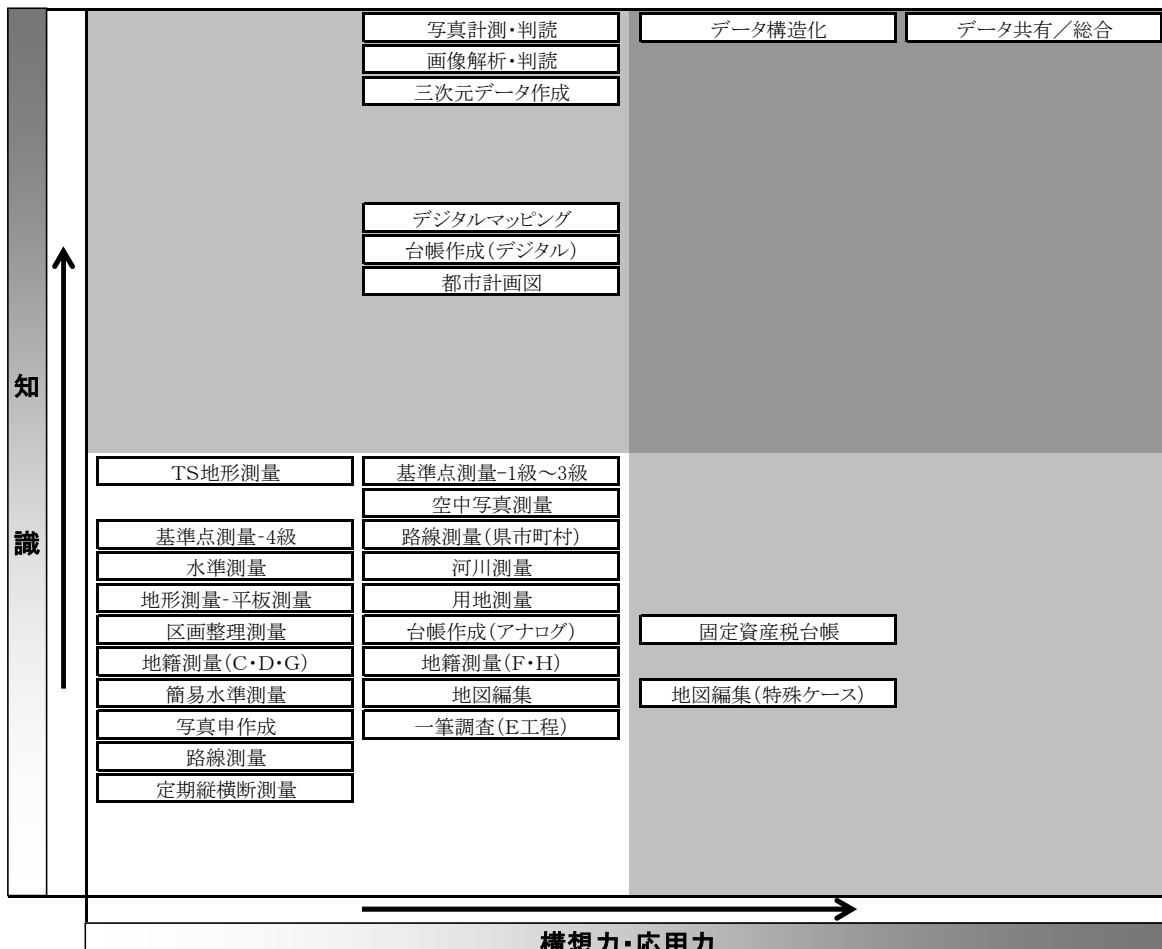


図 測量作業の例

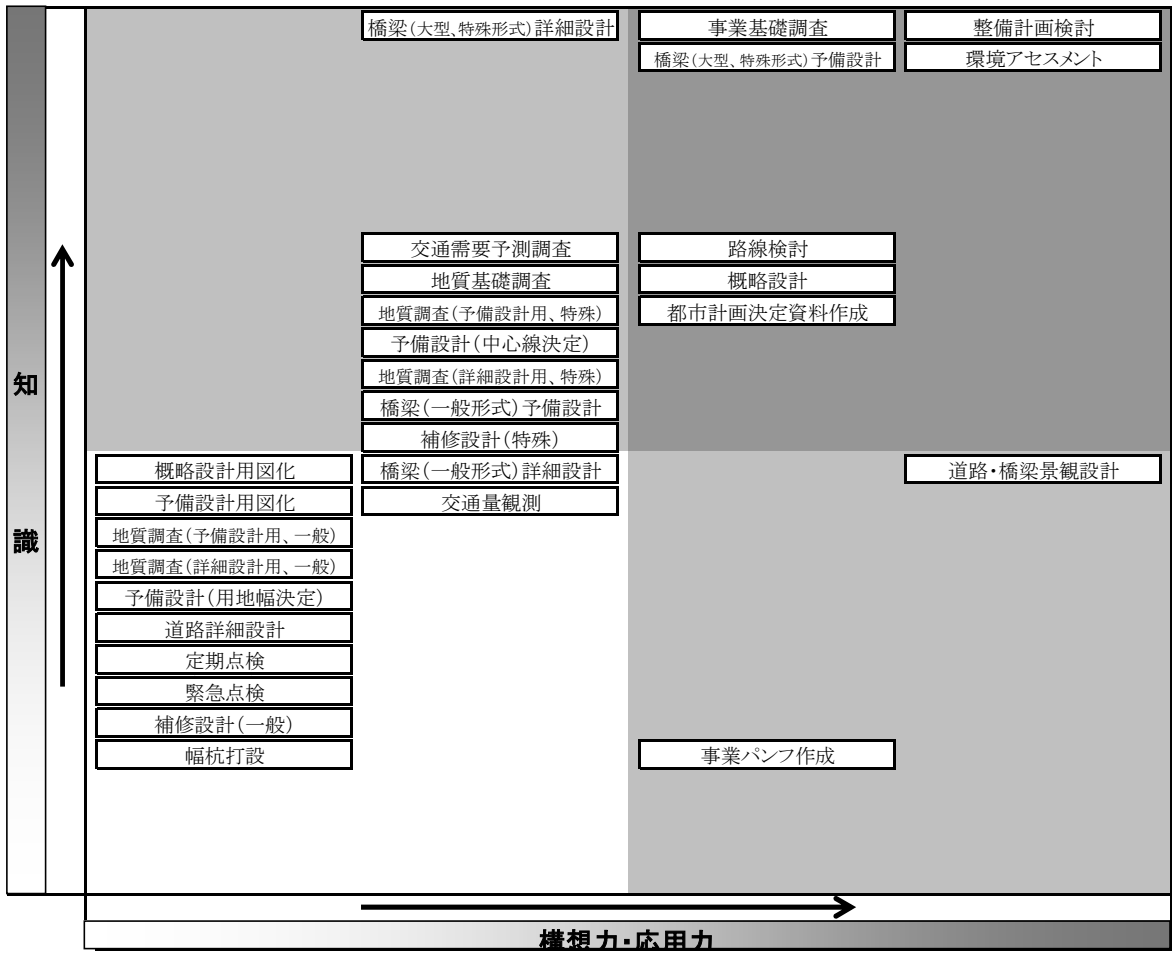
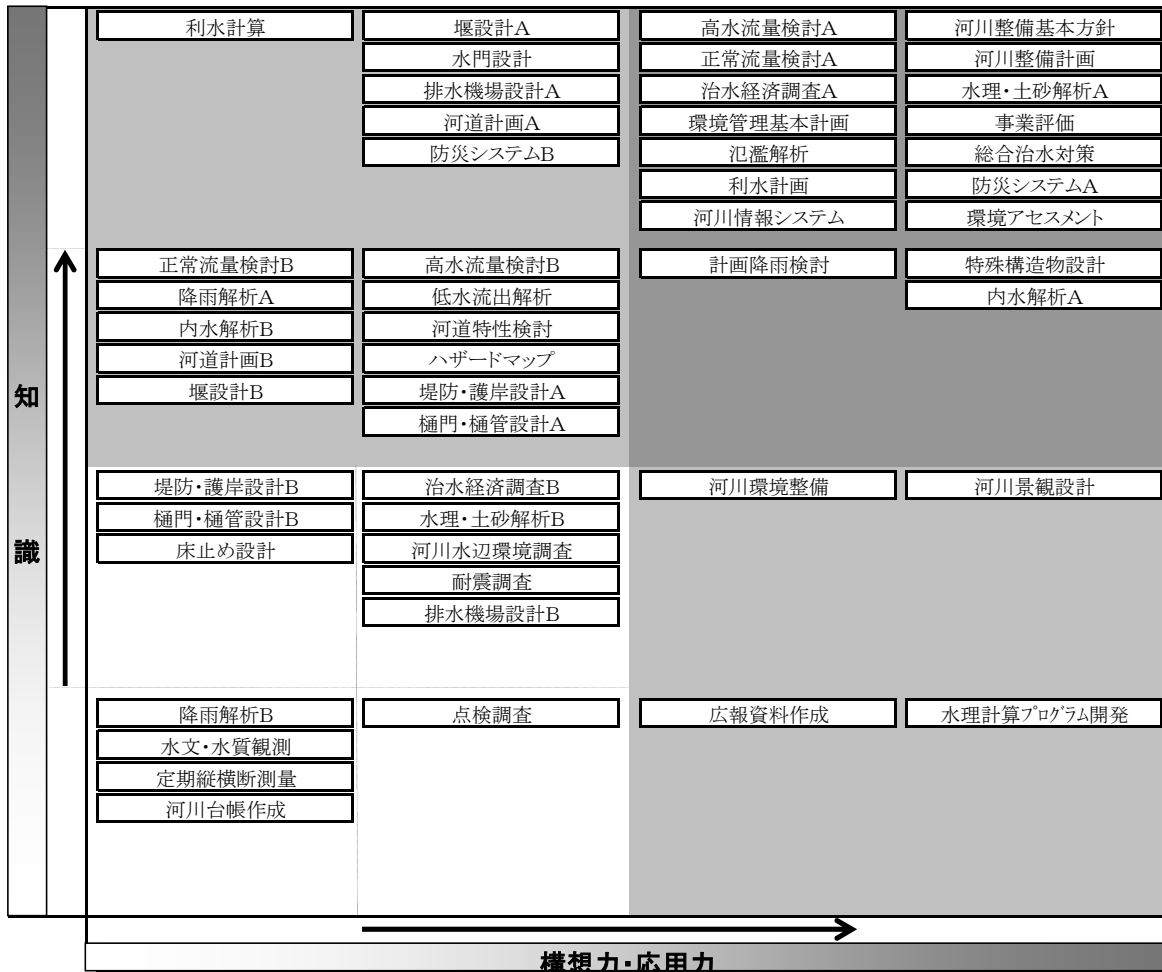


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注: A, Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいもの。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例

2 1 2 3 4 5 6 7

業務評定

対象業務	採用値	地質調査委託	0	測量委託	0	0	概略設計、予備設計委託	詳細設計委託
1 提案力	6	2	2	2	2	2	2	2
2 業務遂行技術力	12	4	4	4	4	4	4	4
3 施工時への配慮（概略・予備）	0	—	—	—	—	—	1	—
4 施工時への配慮（詳細）	0	—	—	—	—	—	—	1
5 コスト把握力	0	—	—	—	—	—	1	1
6 工程管理力	6	2	2	2	2	2	2	2
7 品質管理力	6	2	2	2	2	2	2	2
8 迅速性	3	1	1	1	1	1	1	1
9 説明力	3	1	1	1	1	1	1	1
10 責任感	6	2	2	2	2	2	2	2
11 成果品の品質	21	7	7	7	7	7	8	8
合計		21	21	21	21	21	24	24

代理人・主任	担当技術者	照査技術者
／満点		
600	600	0
1200	1200	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
300	0	0
600	0	0
600	0	600
300	0	0
300	300	0
600	600	0
2100	1200	300
6300	3900	900

概略設計 6
0 5
詳細設計 7
測量委託 3
0 2
地質調査 1
0 4

代理人又は主任技術者

対象業務	採用値	地質調査委託	0	測量委託	0	0	概略設計、予備設計委託	詳細設計委託
提案力	6	2	2	2	2	2	2	2
業務遂行技術力	12	4	4	4	4	4	4	4
施工時への配慮（概略・予備）	0	—	—	—	—	—	1	—
施工時への配慮（詳細）	0	—	—	—	—	—	—	1
コスト把握力	0	—	—	—	—	—	1	1
工程管理力	6	2	2	2	2	2	2	2
品質管理力	6	2	2	2	2	2	2	2
迅速性	3	1	1	1	1	1	1	1
説明力	3	1	1	1	1	1	1	1
責任感	6	2	2	2	2	2	2	2
成果品の品質	21	7	7	7	7	7	8	8
合計		21	21	21	21	21	24	24

担当技術者

対象業務	採用値	地質調査委託	0	測量委託	0	0	概略設計、予備設計委託	詳細設計委託
提案力	6	2	2	2	2	2	2	2
業務遂行技術力	12	4	4	4	4	4	4	4
施工時への配慮（概略・予備）	0	—	—	—	—	—	1	—
施工時への配慮（詳細）	0	—	—	—	—	—	—	1
コスト把握力	0	—	—	—	—	—	1	1
工程管理力	0	—	—	—	—	—	—	—
品質管理力	0	—	—	—	—	—	—	—
迅速性	0	—	—	—	—	—	—	—
説明力	3	1	1	1	1	1	1	1
責任感	6	2	2	2	2	2	2	2
成果品の品質	12	4	4	4	4	4	5	5
合計		13	13	13	13	13	16	16

照査

対象業務	採用値	地質調査委託	0	測量委託	0	0	概略設計、予備設計委託	詳細設計委託
提案力	0	—	—	—	—	—	—	—
業務遂行技術力	0	—	—	—	—	—	—	—
施工時への配慮（概略・予備）	0	—	—	—	—	—	—	—
施工時への配慮（詳細）	0	—	—	—	—	—	—	—
コスト把握力	0	—	—	—	—	—	—	—
工程管理力	0	—	—	—	—	—	—	—
品質管理力	6	2	2	2	2	2	2	2
迅速性	0	—	—	—	—	—	—	—
説明力	0	—	—	—	—	—	—	—
責任感	0	—	—	—	—	—	—	—
成果品の品質	3	1	1	1	1	1	1	1
合計		3	3	3	3	3	3	3

検査担当者

対象業務	採用値	地質調査委託	0	測量委託	0	0	概略設計、予備設計委託	詳細設計委託
提案力	0							
業務遂行技術力	0							
施工時への配慮（概略・予備）	0							
施工時への配慮（詳細）	0							
コスト把握力	0							
工程管理力	0							
品質管理力	0							
迅速性	0							
説明力	0							
責任感	0							
成果品の品質	0							
合計		0	0	0	0	0	0	0

代理人・主任	担当技術者	照査技術者
／満点		
1200	1200	0
300	300	0
2100	1200	300
3600	2700	300

検査担当者評価反映 90%

新成績評価結果 検査担当者				検査担当者	新成績評価結果 工事主管課長（総括監督員）															
専門技術力	コミュニケーション力	成果	評定点	専門技術力					管理技術力				コミュニケーション力	取組姿勢	成果					
執行技術力	説明力	成果		提案力改善力	執行技術力	施工時への配慮	施工時への配慮	コスト把握能力	工程管理	品質管理	品質管理	迅速性	説明力	責任感	成果					

検査担当者点数反映 10%

0			

検査担当者評定含む

工事主管課長 (総括監督員)	新成績評定結果 検査担当者			検査担当者	評定点
	専門技術力	コミュニケーション力	成果		
執行技術力	説明力	成果			

年 月 日

様

葛飾区契約担当者

葛飾区設計等委託成績評定通知書

貴社が履行した委託について、葛飾区設計等委託成績評定要綱第11条第2項の規定により、成績評定の結果等を下記のとおり通知します。

記

委託件名					
契約日			完了日		
業種番号		業種名		分野	
主任技術者					
成績評定	総評定点		点	(項目別評定点は、土-6号様式のとおり)	

75点以上は優良、59点以下は不良となります。

成績評定についての問い合わせ先

総務部契約管財課長

年 月 日

様

葛飾区契約担当者

葛飾区設計等委託成績評定通知書(修正)

貴社が履行した委託について、葛飾区設計等委託成績評定要綱第13条第4項で準用する第11条第1項の規定により、成績評定の結果等を下記のとおり修正したので通知します。

記

委 託 件 名					
契 約 日			完 了 日		
業 種 番 号		業 種 名		分 野	
主任技術者					
成 績 評 定	総評定点		点 (項目別評定点は、土-6号様式のとおり)		
修 正 の 理 由					

75点以上は優良、59点以下は不良となります。

成績評定についての問合せ先

総務部契約管財課長

葛飾区採点表（事故等による減点）

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

評定点数	事由					評定点	
-0.1	<input type="checkbox"/> 測量調査設計業務実績情報システム(TECRIS)への登録を行わなかったことが判明した場合 <input type="checkbox"/> 公共建築設計者情報システム(PUBDIS)への登録を行わなかったことが判明した場合						
	-3	<input type="checkbox"/> 業務執行上、指摘、指導等を行ったが、改善されなかった。 <input type="checkbox"/> 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。または、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 <input type="checkbox"/> 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 <input type="checkbox"/> 業務実施体制に問題があった。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)					
-3		<input type="checkbox"/> 業務に関する情報漏えいがあり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)					
評定点数		-1	-3	-5	-10	-20	
適応事例							
主任技術者等が正当な理由なく改善命令書等の受取りを拒否し続けた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
配置技術者の資格・雇用等に問題があった。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
安全管理が不適切であったために事故、災害等が発生した。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
入札前に提出された当該委託の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
成果物等のミス等により、できあがった目的物等に重大な欠陥があることが判明した。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
かし修補又は損害賠償が実施された場合				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
1 設計等委託業務の履行に当たり、上表適応事例の事実を監督員が確認した場合、工事主管課長(総括監督員)から改善命令書等を交付した上で減点評価を行うこととし、減点は最大20点までとする。 2 同一事由による適応事例の複数項目の減点は、評定上合理的に説明できる場合を除いて行わない。 3 適応事例の適応範囲は、次のとおりとする。 (1) 契約の履行に関することに限定する。 (2) (1)を履行する委託業務に従事する代理人、主任技術者等の技術者、受注者の委託業務従事職員及び(1)を履行するために協力会社に業務の一部を再委託し、その業務に従事する者に限定する。						0.0	

発注者 葛飾区契約担当者 あて

葛飾区設計等委託成績評定通知書等 受領書

当社が履行した下記の業務について、葛飾区設計等委託成績評定要綱第11条に規定する設計等委託成績評定通知書(設-1号様式)及び項目別評定点表(土-6号様式)の説明を受けた上、受領しました。

記

件名	契約日	年月日	完了日	年月日
受注者				

- 受領書類
- 設計等委託成績評定通知書
 - 項目別評定点表
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____

年 月 日

受注者

受領者(自署)

発注者 葛飾区契約担当者 あて

葛飾区設計等委託成績評定通知書(修正)等 受領書

当社が履行した下記の業務について、葛飾区設計等委託成績評定要綱第11条に規定する設計等委託成績評定通知書(設-2号様式)及び項目別評定点表(土-6号様式)の説明を受けた上、受領しました。

記

件 名			
契 約 日	年月日	完 了 日	年月日
受 注 者			

- 受 領 書 類
- 設計等委託成績評定通知書
 - 項目別評定点表
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____
 - _____

年 月 日

受 注 者

受領者(自署)

業種一覧表

財務局ホームページより

業態区分	業種						
土木・建設工事	0100 道路舗装工事	0200 橋りょう工事	0300 河川工事	0400 水道施設工事	0500 下水道施設工事	0600 一般土木工事	
	0700 建築工事						
設備工事	0800 電気工事	0900 給排水衛生工事	1000 空調工事				
設計・測量・地質調査	1100 建築設計	1200 土木設計	1300 設備設計	1400 測量	1500 地質調査		
その他工事	1600 さく井(せい)	1700 船舶	1900 しゅんせつ埋立て	2000 しゅんせつ	2100 潜かん	2200 軌道	
	2300 シールド工事	2400 推進工事	2500 地下鉄工事	2700 造園	2800 運動場施設	2900 コンクリート・プレハブ	
	3000 鉄骨プレハブ	3100 ひき家・解体	3200 消火設備	3300 電話・通信	3400 拡声装置	3500 畳	
	3600 内装仕上	3700 一般塗装	3800 橋りょう塗装	3900 防水	4000 鉄骨架構	4100 鋼けた	
	4200 PCけた	4300 水門門扉	4400 ポンプ据付け	4500 水処理装置	4600 焼却設備	4700 ボイラー	
	4800 エレベーター	4900 電車線架線	5000 地中線	5100 鉄道信号装置	5200 計装装置	5300 沈砂池・沈殿池 機械設備工事	
	5500 送風機 機械設備工事	5600 ばっ気槽散気設備工事	5700 汚泥脱水設備工事	5800 消化槽 機械設備工事			
	5900 ガス貯留設備工事	6000 公設ます工事	6100 水道管更生工事	6200 石綿処理	6300 機械器具設置	6400 屋根	
	6600 金網さく	6700 板金	6800 サッシ	6900 シャッター	7000 起重機	7200 冷凍・冷蔵庫工事	
	7300 グラウト	7400 道路標識設置	7500 道路標示塗装	7600 ガードレール	7700 モルタル吹付け	7800 植生	
	7900 運動器具設置	8000 テレビ共聴工事	8100 防音壁・しゃ音壁	8200 舞台装置	8400 と場施設	8600 ガソリンスタンド	
	8700 PCタンク	9100 すべり止め舗装	9200 樹脂塗装	9300 陸上信号機	9400 伸縮継手	9500 鉄鋼加工	
	9600 ウェルポイント	9700 パイプライニング	9800 脱硫・脱臭				
	特殊工事	9901 基準タンク	9902 安全溝設置	9904 空気搬送	9906 床版補強	9907 電源設備	9908 発電設備
		9909 電気防食	9910 給湯器・浴槽設備工事	9911 床仕上	9912 放射線防御	9914 飛散防止工事	9915 ろ過層処理
		9917 厨房	9920 石工事	9923 自動ドア装置	9924 強化樹脂板取付	9925 医療ガス配管	9926 高圧ガス配管
9930 集じん装置		9933 タイル工事					

設計等委託業種・分野一覧表

業種	分野(PUBDIS検索用分類)	備考 (参考)施設例(PUBDIS施設用途分類表より)
11建築設計	01 文化施設	コンサートホール、国際会議場、地区コミュニティ施設、図書館、公文書館、美術館、動物園
	02 体育施設	体育館、スタジアム、展望塔、公衆トイレ(公園施設)
	03 教育施設	小・中・高等学校、大学・各種学校、盲・ろう・養護学校
	04 宗教施設	神社、寺院、納骨堂、墓苑
	05 教育施設(児童福祉施設)	保育所、児童福祉施設
	06 福祉施設	老人福祉施設、障害者福祉施設、総合福祉センター
	07 医療施設	病院、診療所、保健所
	08 事務施設	事務所(官公庁は「15一般行政施設」)
	09 試験・研究施設	観測所、天文台
	10 宿泊施設	ホテル、保養所
	11 商業施設	店舗、食堂、娯楽施設
	12 情報通信施設	放送局、無線中継所
	13 交通施設	駅、バスターミナル、駐車場、給油所、港湾施設、空港施設
	14 流通施設	中央卸売市場、流通センター、工業施設、畜舎、と畜場
	15 一般行政施設	庁舎、公館、保険事務所、運転免許センター
	16 特殊行政施設	警察署、交番、消防署、浄水場、下水処理施設(ポンプ場含む)、廃棄物リサイクルセンター
	17 個人住宅・小規模集合住宅	
	18 集合住宅(低層)	(3階以上10階以下)
	19 集合住宅(高層)	(11階以上)
	20 寄宿舍・寮	警察寮
	21 特殊設備施設	エネルギーセンター、給排気塔、ポンプ場
	22 [外構]	建物外構、グラウンド
	23 [耐震診断]	全用途対象
	24 [解体、除却]	全用途対象
	25 [監理]	建築設計に関わる監理は全てこの分野

業種	分野(テクリス部門コード)	備考 (参考)対応するテクリス詳細部門コード
12土木設計	01 河川、砂防及び海岸	011河川、012砂防、地すべり、013ダム、014海岸
	02 港湾及び空港	021港湾、022空港
	03 電力土木	031水力発電所、032補償
	04 道路	041道路、042現道拡幅、043道路施設
	05 鉄道	051鉄道計画、052鉄道施設
	06 上水道及び工業用水道	061上水道、062工業用水道
	07 下水道	071下水道
	08 農業土木	
	09 森林土木	
	10 造園	101公園、緑地、広場、スポーツ・レクリエーション施設、102環境緑化・景観、103地域計画
	11 都市・地域計画及び都市整備	111都市・地域計画、112都市施設、113都市(市街地)開発
	14 鋼構造・コンクリート	141橋梁、142現橋拡幅、143水門設備
	15 トンネル	151トンネル、152トンネル付属設備
	19 水産土木	
	36 防災	361水防、362高潮・津波防災、363土砂防災、364震災、365都市防災、366交通・道路防災

業種	分野	備考
13設備設計	01 建築電気設備	建築営繕に関わる電気設備
	02 建築通信設備	建築営繕に関わる電話、通信等設備
	03 建築機械設備	建築営繕に関わる機械設備(給排水、空調、昇降機を含む)
	04 土木電気設備	(参考)建設局積算基準土木設備(業務委託編) (受変電設備、電源設備、揚排水機場電気設備、地下駐車場電気設備、配電線設備、道路照明設備、トンネル照明設備、施設照明設備、共同溝付帯設備、電気応用設備、道路照明維持補修) 【テクリス詳細部門コード】 20電気・電子、312電機施設
	05 土木通信設備	(参考)建設局積算基準土木設備(業務委託編) (多重通信設備、テレメータ設備、放流警報設備、移動体通信設備、有線通信設備、道路情報表示設備、河川情報表示設備工、放流警報表示設備工、トンネル防災設備工、非常警報装置設備工、ラジオ再放送設備工、トンネル無線補助設備工、路側通信設備工、道路防災設備工、施設計測・監視制御設備工、通信鉄塔・反射板設備工) 【テクリス詳細部門コード】 311通信施設
	06 土木機械設備	(参考)建設局積算基準土木設備(業務委託編) (水門設備、揚排水ポンプ設備、トンネル換気設備、トンネル非常用設備、道路排水設備、共同溝付帯設備、遠方監視操作制御設備) 【テクリス詳細部門コード】 18建設機械
	07 監理	設備設計に関わる監理は全てこの分野

業種	分野	備考
14測量	01 地上測量	・航空写真測量、深淺測量以外の測量 【テクリス業務内容コード】 371201基準点測量、371202水準測量 372201基準点測量、373202水準測量 372601路線測量、372602河川測量 372603用地測量
	02 航空写真測量	【テクリス業務内容コード】 371303写真図、371304空中写真撮影 372303写真図、372304空中写真撮影
	03 深淺測量	【テクリス業務内容コード】 372604深淺・汀線測量

業種	分野	備考
15地質調査	—	【テクリス部門コード】 12地質、13土質及び基礎

※建築設計の分野は、主にPUBDIS(公共建築設計者情報システム)の検索用分類を準用している。

なお、22～25の[]付きの分野はPUBDISの分類ではなく、都独自に設定した分類としている。

※土木設計は、テクリス(測量調査設計業務実績情報システム(TECRIS))の部門コードを準用している。